

令和5年 第3回 北海道議会定例会 予算特別委員会〔総務部所管〕開催状況

開催年月日 令和5年10月3日（火）

質問者 日本共産党 丸山 はるみ 委員

答弁者 危機管理監、危機対策局長、危機対策課長

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>一 日米共同訓練等について.</p> <p>(一) 沖縄の負担軽減について</p> <p>これまで、道内では沖縄で行われる訓練の負担軽減という名目で、様々な訓練が実施されてきました、道内で行われた日米共同訓練のうち、沖縄の負担軽減が目的とされるものは過去3年間で何件あるのかお答えください。</p> <p>(二) 訓練の規模について</p> <p>沖縄の基地負担軽減ということで、1997年に訓練が移転されてからもうすでに26年が経過しておりますけれども、首相や防衛大臣などからはいまだに沖縄県の負担軽減が必要と言われ続けている。</p> <p>移転前に沖縄で行われていた訓練と比較して、道内で行われた訓練は同質同量の訓練と言えるのかどうかお考えをお答えください。</p> <p>(再質問)</p> <p>沖縄で訓練が行われていた当時と比較すると、兵器の種類は変化し、大型化・高性能化しています。ハイマースなどのロケット砲も持ち込まれる事態が常態化しているということで、道内の訓練で使用される兵器について、どのように把握しているのか、また、訓練規模についての具体的な検証というのは行っているのでしょうか。</p>	<p>(危機対策課長)</p> <p>日米共同訓練の実施等についてでございますが、本道で実施された訓練のうち、沖縄県の負担軽減を図るためのものとしては、矢白別演習場での「沖縄県道104号線越え実弾射撃訓練の分散実施」いわゆる「実弾射撃訓練」や、「米軍再編に係る千歳基地への訓練移転」のほか、オスプレイを使用した日米共同訓練と認識をしており、過去3年間の実績は、令和2年度が1件、令和3年度が3件、令和4年度が3件となっているところです。</p> <p>(危機対策局長)</p> <p>沖縄の負担軽減などについてでございますが、本道で実施されている訓練の中でも、矢白別演習場での、いわゆる「実弾射撃訓練」は、日本国とアメリカ合衆国との間の相互協力及び安全保障条約に基づく協定に基づき設置された合同委員会において合意された内容に基づき、実施されていると承知しております。</p> <p>この訓練は、沖縄県の負担軽減を図るため、平成9年度以降、地域の理解と信頼をもとに実施されてきていると承知しておりますが、道では、訓練の実施にあたって、地元自治体とともに、北海道防衛局に対し、地域住民の安全・安心の確保と不安解消や負担軽減について、地元の意向を十分に反映するよう要請してきているところでございます。</p> <p>(危機対策局長)</p> <p>訓練の実施内容についてでございますが、道では訓練の実施にあたり、訓練の分散や実施のあり方、訓練内容の事前説明といった情報提供などについて、地元自治体とともに、北海道防衛局に要請してきているところであり、道防衛局からは、訓練の都度、その概要について説明を受けているところでございます。</p> <p>また、新たな様態の訓練が行われる場合等において、今後とも、可能な限り適時適切な情報提供に努める旨、道防衛局から回答があるところでございます。</p>

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>(三) 訓練の検証判断について 情報提供があっても、検証が行われていないのであれば、先に述べた同質同量の訓練であるかどうかの具体的な判断というのは誰がどのように行っているのかお答えください。</p> <p>(再質問) 合意の内容が、適切に行われているかどうか検証しているのかということを確認しているのです。誰も具体的に同質同量と判断するということがないということであれば、訓練量はどんどん増えていってしまう可能性が否定できないと思います。道民の安全を確保するためには、訓練の固定化・増大化を回避する必要があると考えますが、この点について北海道はどのように考えていますか。</p> <p>(四) 移転訓練における夜間訓練について 矢白別演習場では夜間も射撃訓練等が行われていますが、沖縄での夜間の射撃訓練の実績というのはどういったものだったのかお答えください。</p> <p>(再質問) 前提として沖縄のキャンプハンセンにおいて、移転前に行われていた夜間訓練の実績とは、いつ、どのような訓練かお答えください。</p> <p>(再質問) 報道によるとですね、沖縄防衛局はキャンプハンセンの夜間訓練自体、移転前の92年から96年の間は実施していなかったとされていると、この点について、道としてどのように認識していますか。</p>	<p>(危機対策課長) 矢白別演習場における「実弾射撃訓練」についてでございますが、この訓練は、沖縄県の負担軽減を図るため、平成9年度から矢白別演習場を含め、沖縄県外の5カ所の演習場において分散・実施されているところであり、日本政府としては、本土において同質・同量の訓練を実施することとする旨、アメリカ合衆国政府と合意したものと承知しております。</p> <p>(危機対策課長) 地域住民の安全確保などについてでございますが、訓練の実施にあたり、地域住民の安心・安全の確保と不安解消などについて、地元自治体とともに、道防衛局に要請してきたところであり、道防衛局からは、安全管理等に万全を期すほか、速やかな情報提供に努める旨の回答があり、道としては、国の責任において、安全管理の徹底が図られる必要があるものと考えてございます。</p> <p>(危機対策課長) 米軍の夜間射撃訓練についてでございますが、国においては、実弾射撃訓練の一部として行われている、夜間射撃訓練については、沖縄県で訓練の一部として行われていた夜間射撃訓練と同様のものであるとの見解を示していると承知しております。</p> <p>(危機対策課長) 夜間射撃訓練についてでございますが、道としては、沖縄県で行われていた訓練の詳細は把握はしてございませんが、国では、夜間射撃訓練は、沖縄県で訓練の一部として行われていたものと同様であるとの、見解を示しているところです。</p> <p>(危機対策課長) 訓練移転前の夜間射撃訓練についてでございますが、委員ご指摘の内容について、道としては、そうした事実は把握しておりません。</p>

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>(再質問) 把握していないにもかかわらず、同質・同量というその根拠を示していただけですか。</p> <p>(再質問) 結局、夜間訓練の根拠は示されないということだと思います。沖縄で行われていなかった夜間訓練が、移転と同時に進むというのはこれ大きな問題だと思います。 地元自治体と北海道がつくる連絡会議はこれまでに、夜間訓練を実施しないように国に対して要請をしていますが、依然として夜間訓練は実施されています。 同様に移転訓練が行われている大分県の事例ですけれども、夜間訓練が行われた際に、当時の知事が防衛大臣に直接抗議を行っているということなのですが、北海道としてはどのような対応を行ってきたのか。 あわせて、これまで知事が夜間訓練の実施に際して、直接防衛大臣へ抗議を行ったことがあるのかどうかお答えください。</p> <p>(再質問) 北海道としては要請はしている。夜間訓練が行われた際は北海道単独で道防衛局長に要請をしているという内容でした。 要請はこれまでも北海道として行っているけれども、繰り返し夜間訓練は続けられています。このことについてです、北海道として、どのように認識しているのか、伺います。</p>	<p>(危機対策課長) 夜間射撃訓練についてでございますが、道としては、沖縄県で行われた訓練の詳細は把握してございませんけれども、国では、夜間射撃訓練は、沖縄県で訓練の一部として行われていたものと同様であるとの、見解を示しているところでございます。</p> <p>(危機対策課長) 夜間射撃訓練に关します要請についてでございますが、地元自治体とともに、夜間射撃訓練を行わないこと、強いて実施する場合は、短日数・短時間とし、午後9時30分までには終えることを要請しているほか、夜間射撃訓練が行われた際には、この要請とは別に、道単独での要請を道防衛局長に対して実施してございます。</p> <p>(危機対策課長) 夜間射撃訓練に関する要請についてでございますが、矢臼別演習場周辺地域は、全国有数の酪農地帯であることも踏まえ、夜間の実弾射撃訓練を行わないこと、強いて実施する場合は、短日数・短時間とし、午後9時30分までには終えることを要請をしており、国においては、こうした要請の趣旨に沿って、対応されていると理解しております。</p>

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>(五) 国への要望について</p> <p>矢臼別演習場周辺の住民は、酪農を営んでいる方が多くて、ヘリコプターなどの爆音の影響で搾乳にも影響が出ているとの声が届いています。こうした道民の声に対し、北海道として負担軽減にどのように取り組むのか。</p> <p>また、この間の防衛局への要請のような通り一辺倒の要望ではなくて、訓練の中止を求めるべきと考えますけれども、北海道として検討する考えはありますか。</p> <p>(指摘)</p> <p>沖縄での訓練の負担軽減を理由に、道内で行われている日米共同訓練等について、それが、同質・同量であるかという具体的な検証がなされていないということを理解しました。これでは、沖縄の負担軽減というのは単なるお題目になってしまうのではないのでしょうか。そして答弁の中で、本道周辺の安全保障環境が厳しさを増す中という言葉がありました。そういうふうにおっしゃられています。沖縄の負担軽減を超える日米共同訓練等になっていくのではないかと強く危惧するところです。日米同盟一辺倒ではなくて、対話によって緊張を緩和するそのことに力を入れること、これを国に求める必要が高まっているということを指摘して次の質問に移ります。</p>	<p>(危機管理監)</p> <p>日米共同訓練などについてでございますが、本道周辺の安全保障環境が急速に厳しさを増す中、日米共同訓練は、日米同盟の抑止力や対処力を一層強化するために実施される重要なものでございます。また、矢臼別演習場における実弾射撃訓練は、訓練活動に伴う沖縄の負担軽減に寄与するものであると受け止めております。</p> <p>他方、本道で実施されるいかなる訓練におきましても、道民の皆様の安全・安心が確保されることが何よりも大切であると認識をしているところでございます。</p> <p>このため道では、これまでも道内で訓練が行われる際には、国による十分な説明や安全管理の徹底につきまして、関係自治体とともに、北海道防衛局に共同要請を行うなどしてきたところでございます。今後とも関係自治体と緊密に連携しながら、住民の皆様の生活に不安や支障を与えることがないよう、国に対し、最大限の配慮を求めてまいります。</p>